「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」に協力

11 月 29 日、RKK 熊本放送が主催し、西原村が後援する熊本地震の復興支援イベント「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」が西原村村民体育館と、その周辺で行われました。

2016 年 11 月 29 日（西原村村民体育館）

心と身体の元気

11 月 29 日、RKK 熊本放送が主催し、西原村が後援する熊本地震の復興支援イベント「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」が西原村村民体育館と、その周辺で行われました。同イベントは、地震で甚大な被害を受けた西原村の住民に、「笑い」で日ごろの疲れを癒してもらおうと企画されたものです。その趣旨に賛同し、熊本地震の被災者の「心と身体の元気サポート」の一環として、キリン株式会社（社長 磯崎功典）が協力しました。

当日は、午前 9 時から RKK ラジオの人気番組「とんでるワイド大田黒浩一のきょうも元気！」の公開生放送が行われたほか、地元の特産品や加工品の販売店、飲食店など約 10 店が出店する「復興マルシェ」も行われ、お昼時にはそれぞれのテントの前に行列ができるほどの賑わいを見せました。キリングループでも、西原村商工会青年部の出店で、温かい飲料を提供しました。

午後 2 時からは、大田黒浩一さん率いる「劇団きゃあ」による肥後にわか公演が行われました。会場の村民体育館は、当初の予定を上回る来場者で熱気にあふれ、立ち見も出る盛況ぶりでした。大田黒さんの軽妙なオープニングトークや熊本在住のシンガーソングライター・進藤久明さんのミニライブに続き、肥後にわかでは「家族」をテーマに、笑いあり涙ありの舞台が繰り広げられました。終了後、住民の方々が一様に笑顔で会場を後にする姿が印象的でした。

コメント①

キリンビール株式会社　熊本支社長　麻生 芳彦

本日は、キリングループの「復興応援 キリン絆プロジェクト」で掲げる“3 つの幹”の一つ、「心と身体の元気サポート」の一つとして「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」に協力させていただきました。楽しい肥後にわかで、日ごろの疲れやこれまでのご苦労を、つかの間でも笑い飛ばして心を癒して欲しいと思います。

コメント②

（株）熊本放送　営業局　局長　入杉 三久 様

「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」は、RKK 熊本放送が初めて取り組む復興支援イベントです。熊本地震発生後の避難生活や、その後の仮設住宅での暮らし、さらにこれからの復興へ向けてと、まだまだ長い道のりだとは思いますが、あきらめずに頑張っていただきたい。そのために、キリン株式会社様の協力の下、皆さまに肥後にわかを見ていただくことにしました。ぜひ、笑顔でお帰りください。

コメント③

タレント、劇団「きゃあ」主宰　大田黒 浩一 様

舞台上から見えた西原村の皆さんの表情から、「今日は楽しむぞ」という気持ちがひしひしと伝わってきて、地震による苦労を笑い飛ばす元気や性根の強さを感じました。以前から、「笑いには人を元気にする力がある」と信じて、肥後にわかの公演を続けてきました。ただ、震災後は「こんなときに、お笑いや芝居をしてもいいものか」という迷いも出ました。しかし、今日の舞台で「やはり笑いは活力を生む」「これからも続けていかなければ」という確信が得られた気がします。また、イベント開催に協力してくださったキリングループ様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

コメント④

西原村商工会青年部　東 知史 様

「復興マルシェ」への出店に当たっては、キリングループ様から、販売する飲料の一部をご提供いただき大変感謝しています。西原村や南阿蘇村への交通の要である俵山バイパスが通行止めになっているため、商工会内でも飲食店や物販店を経営しているメンバーの中には、先行きのメドが立たない者もいます。それだけに、こうしたイベントは商工業者にとってもいい刺激になりますし、何より久しぶりに住民の皆さんの笑顔を見られたことで元気になれました。今後は、私たち青年部が村内各地区のリーダー的存在になって、地域の活性化につながる活動を行っていければと思います。
（取材日は 11 月 29 日。俵山バイパスは、12 月 24 日に一部う回路を利用し暫定開通）

東 知史 様（写真左）

コメント⑤

NPO 法人 にしはらたんぽぽハウス　施設長　上村 加代子 様（写真後列中央）

「にしはらたんぽぽハウス」は、障がい者の就労支援を行っている施設です。「食」を通じて地域の方々との結びつきを図ろうと、毎週金曜日に 1 杯 500 円のラーメンの炊き出しを行っています。熊本地震後は、支援物資としていただいた食材などを活用し、全国から訪れたボランティアの皆さんへの炊き出しも実施しました。「食」と「笑い」は、どんなときでも人を元気にしてくれます。震災からの復興が次の段階に進もうとする中で、こうしたイベントに人が集まり、元気や笑顔が見られるのは本当にいいことだと思います。

コメント⑥

JA 阿蘇 西原中央支所　甘藷（かんしょ）部会の皆さん

「復興マルシェ」では、西原村で 4 年ほど前から栽培が始まったサツマイモの新品種シルクスイートを皆さんに知っていただくために、焼き芋を出店しました。熊本地震が発生した 4 月は、ちょうど今年の植え付けの最中でしたが、畑に亀裂が入ったり、貯蔵庫が損壊したりなど多数の被害が出ました。一時はサツマイモを栽培する農家の方々も落ち込んでいましたが、今では「くよくよしていられない。前向きに頑張ろう！」と気持を新たにしています。今回のイベントで、久しぶりに村の皆さんとの触れ合いも楽しめました。